武　一　中

令和７年２月25日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R6－23号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

「成長の機会・見通しをもつ」の感想

校　長　　中嶋　建一郎

１月と２月の朝礼の話の感想は少なかったので、合わせて一部を紹介します。皆さんの感想や意見は様々です。読んでみると同じ中学生でもいろいろな考えがあることが分かり、自分の考えを広げられると思います。

【成長の機会】の感想

○身長が伸びる、進級するなどは目で見てわかる成長ですが、目に見えない成長もあるのだなと納得しました。私は、前よりほかの人と話せたり、クラスのために力を尽くしているところが成長している部分だと思います。

●うごける範囲が広がることも、成長の一つだという話が共感できました。私も先日、じっさいに都内巡りで電車を使った移動を多く行っていましたが、特に駅構内での移動の難しさにびっくりしました。休日、家族で少し遠くに行くとき、親は当たり前のように電車を使っていますが、都内巡りを終えた今ではそれも当たり前のことではないのだなと思います。私もむかしに比べれば確実に成長していますが、より成長できるように頑張りたいです。

○「成長」には体が大きくなったりするだけでなく技術が向上したりすることも「成長」することの意味の中に入ることがわかりました。

●私は成長するよりも衰えていく方に実感がわきやすいです。何か一つの分野に衰えを感じると、他の自信にも影響して前に突き進むことができない事を中学生になり初めて感じました。自分の未来像を想像せずに実行していることが原因だと考えています。そのため、一つ一つの行動に計画性を持って、自分が成長する実感を覚えながら目標に向かって自信を持って突き進みたいと思います。

○成長は身長や体重が増えたりすることだと思っていたけど、精神面などでも成長していることを考えると、人間ってすごいなと思った。

●成長というのは日々感じれて、特に親とかに身長伸びたとか言われたときにとても嬉しい。

○成長の機会を逃さずに頑張ろうと思った。

成長の機会は様々なところにあります。この朝礼の感想を書くことも成長の機会だと考えています。自分の思いや考えを書くこと、アウトプットすることを続けていくことで、相手に伝わるように書くにはどうしたら良いか等が、だんだんと身に付いていきます。

【見通しをもつ】の感想

●今、受験生ですが、三年生になったときから受験の見通しをもっていたらなと感じました。最近では手帳に予定を書くようにしています。そのおかげで受験当日まで何日か、何をするかを書き綴れるようになりました。高校でもこの習慣を続けたいです。

○将来を見通してこれからの進路を決めていきたい。また、見通すことも大切だが、自分が予想していた結果にならなくても、そこからどうしていくか考える力も大切だと思った。

●新学期かどうか関係なく、見通しを持ったり計画を立てたりするのは大切だと実感できました。そのため、学習計画表の必要性や todo リストの重要性を理解できました。

○私はとにかく計画やらコツコツが苦手で私が一番嫌いな事は計画して取り組むことだ。私はよくなんとなく過ごして提出物をギリギリで出すことがある。もっと見通しをもたないと、いつか後悔する時が来るな、と改めて思わされた。

●高校に入ったら先を見通して行動することを大切にしたいと思います。

○私は今まであまり見通しを持たずに生活していました。なのでこれからは１日などの短い時間でもいいので「今日はこれをやろう」という見通しを持っていきたいです。

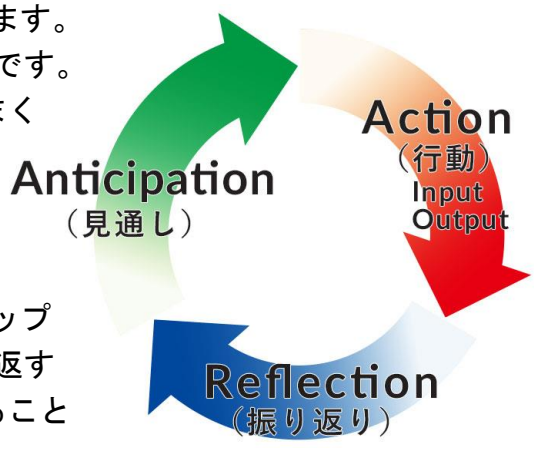
●最近は進路のこと、2,3 ヶ月先のことについて考えることが多いので、改めて見通しを持って考えることの大切さを感じました。

○学年末が終わると合唱コンクールや卒業式もあり、たくさんのスケジュールが入っているためカレンダーなどに書いて見通しを持つことを大事にしていきたいと思いました。

「見通し」をもち、「行動」し「振り返り」をすることを合わせて、AAR サイクルと呼んでいます。皆さんが様々な力を身に付けていく仕組みです。AAR サイクルの AAR は、見通し（Anticipation）、行動（Action）、振り返り（Reflection）の頭文字をとっています。

この AAR サイクルは皆さんが学ぶときに役立ちます。例えば、これまで経験したことがないようなことでも、この AAR を利用すれば、どうすれば良いかわかります。

何かの実行委員になったとします。初めに、「見通し」をもちます。過去の例や他の人の意見を聞くなどして、計画を立てて見通しをもちます。
次に実行「行動」します。計画にそってやってみるのです。
終わったら、「振り返り」ます。良かったところ、うまく行かなかったところなどを明らかにします。そして、その振り返りをもとに次の「見通し」をもつと、一歩成長した次のサイクルに入るわけです。



これまでに取り組んできていることでも、レベルアップを図るのに利用できます。なんとなく同じことを繰り返すのではなく、「見通し」「行動」「振り返り」を意識することが大切です。意識すると見えないものも見えてきます。